

川崎市議会議員(麻生区)

http://www.tsukimoto.info

# 月本たくや

レポート【第 15 号】



月本たくやレポート編集部

〒215-0031 川崎市麻生区栗平 1-5-32 ベアーズハイム 101

TEL : 044-986-6010 FAX : 044-986-6011 Email : mail@tsukimoto.info

## 無所属議員としての初議会を終えて

無所属として初めての議会になりました。5月21日に新党準備室から立ち上げに参加した、みんなの党に離党届を提出。その後、5月24日にみんなの党川崎市議会議員団長の辞職・離団しました。

参議院選挙の候補者選考の過程で生じた非常識な矛盾やガバナンスの崩壊から、この党は実行力のない政党であると判断し、また、再生も困難であると判断したことから離党しました。そして、団長を務めていたため、その責任が重いことから、団長辞職ならびに市議団の離団をしました。みなさまにはご心配とご迷惑をお掛けしたこと、心よりお詫び申し上げます。

今後は無所属として活動して参りますので、引き続き、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

.....

今回の議会の一般質問では、「まちづくりの中の市役所機能について」、「電子町内会について」、「職員の名刺について」の3点の質疑を行いました。

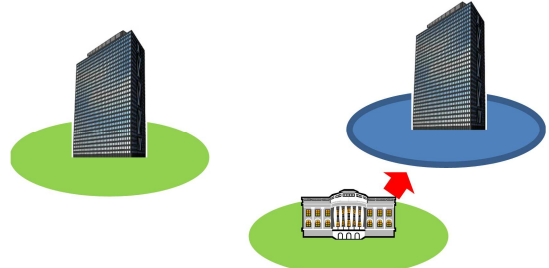
### まちづくり中での市役所機能について

本庁舎等の耐震対策の問題から、検討委員会が設置され、先日も建て替えを中心に検討が進められるとの報道もありましたが、私の質疑は、「市役所の移転」でした。

同じ場所に建て替えるよりも、中原区の小杉地区等への移転を検討すべきという提案です。

そもそも川崎市役所本庁舎ができた75年前と、人口分布も地域特性も変貌を遂げ、何も川崎駅から近い場所にある客観的理由が見当たらないわけで

本庁舎等耐震対策に係る調査・検討報告書による建て替え比較検討案イメージ



A 案: 現地建て替え

B 案: 庁舎移転

す。しかも、経済や産業の集積する川崎駅周辺と、新都心として交通アクセスのよい武蔵小杉周辺を比較した場合、選択と集中の観点で、武蔵小杉駅周辺に移転することが望ましいと考えます。

また、世界最先端技術都市と環境のまちとしての特色を活かしたスマートな機能を持つ庁舎にできれば、長く有効に使える庁舎になるため、これらを考慮した建て替え検討が必要と思います。

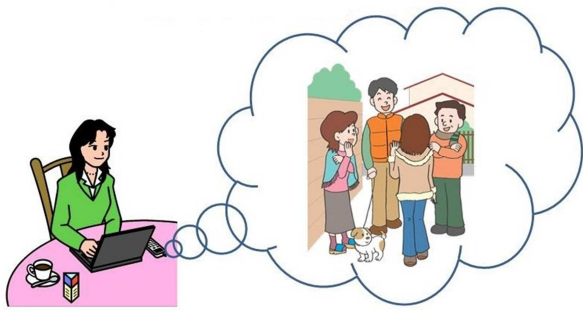
現地建て替えと移転の用地と建物のコスト比較だけを検討委員会の調査資料にしていたため、経済効果やまちづくり効果を踏まえた参考比較がない点を指摘した質問を行いました。

しかし、「現在の検討委員会での検討を進めたい」という答弁に留まっているので、今後も注視して参ります。

### 電子町内会について

電子町内会・自治会の促進を提案しました。

町内会・自治会の市内の加入率は60%台で、市民意識調査の結果では、加入していない理由の上位



には、「加入のしかたがわからない」「町内会が何を  
しているかわからない」というものがありました。

道路にある防犯灯の設置や防犯灯の電気代は一  
部町内会・自治会で負担していることを始め、様々  
な場面で町内会・自治会に加入しているかどうか  
に関わらず、必要な支出が出ているのも実情です。

しかし、そもそも何をしているのかわからないと  
いうことは、情報を得る機会が少ないということ  
です。ホームページや SNS を活用している町内会・  
自治会が少なく、市域の多くを占めるベッドタウン  
地域では、回覧板や掲示板の情報以外に情報を収集  
する機会が少ないと言えます。

回覧板の情報はもとより、防犯灯の電灯が切れて  
いるとか、不審者情報、また地域の清掃活動など、  
様々な情報を交換できる場所が WEB 上で出来れ  
ば、通勤電車の中でスマートフォンを見たり、会社  
の休み時間にこれらの情報を交換することもでき  
ます。

若い世代の参加が少ないという課題を解決する  
ためにも、このような機会を拡大すべきという提案  
を行い、市民・こども局長からも前向きな答弁を頂  
きましたが、まだまだこれからです。

## 職員の名刺について

職員の名刺を公費で作成することは、旧自治省通  
達で控えるべきとの見解があり、これまで川崎市の  
職員は部長級以下は自費で作っています。「役所の  
やつは名刺をよこさない」というクレームをどこの  
自治体でも耳にすることがありますが、そもそも名

刺を自費で作るため、作らないという選択肢も生ま  
れてしまうわけです。

名刺を作らないということは、担当した職員の責  
任の所在が分かりにくいという問題点もさること  
ながら、名刺交換を機にシティプロモーションをす  
るチャンスを失っていることにもなりかねません。

市長・副市長・局長級の名刺は公費ですが、部長  
級以下は自費というのが川崎市の現状です。

他の政令指定都市をみると、横浜市や福岡市など  
7都市ではシティセールスを目的とした名刺を作  
成しています。

特に、福岡市は、旧自治省通達を考慮し、名刺と  
は別でプロモーションカードという位置づけを明  
確にしています。

川崎市はどんな街？

川崎市外の方が川崎に抱くイメージと、実際に訪  
れてみての印象、川崎がこれからやろうとしている  
ことのイメージはそれぞれ異なると思います。

また、市民でも、川崎区の方が麻生区の知らない  
ことがいっぱいあり、麻生区の方もほかの区のこと  
も同じ麻生区のことでも知らないことがいっぱい  
あります。

名刺交換の機会に川崎市をセールスする。

私は民間企業で営業マンをやりましたが、私が  
名刺交換をしたことで、会社を知り、会社の商品  
を知ってもらう機会があり、そこから仕事に結びつ  
いたこともありました。

市の職員の方は、シティセールスの部署だからと  
か、そうではないからとかで位置づけを変えること  
なく、全職員がシティセールスの窓口であるという  
自覚を持ってもらい、そのきっかけとして、プロモ  
ーションカードの導入を提案しました。

市民・こども局長の答弁では、「関係局と調整し、  
検討する」という、初めてプロモーションカード作  
成について積極的な答弁があり、私の質問により、  
ひとつ前進しました。

## 月本たくやプロフィール

昭和 53 年 大阪府豊中市生まれ。神奈川大学法学部法律学科卒業後、建築設備メーカーに就職。  
川崎市長 阿部孝夫 政務秘書、衆議院議員 山内康一 公設第二秘書（麻生区・国会担当）、みんなの党本部事務局（兼  
任）を経て、平成 23 年 川崎市議会議員初当選。みんな川崎市議会議員団長（最年少）、川崎市農業委員（議会推薦）、  
議会運営委員、議会運営検討協議会委員等を経て、平成 25 年 5 月より無所属。  
現在 川崎市議会議員（麻生区選出、市民委員会） NPO 法人防災・防犯ネットワーク理事・麻生支部長  
麻生区白鳥在住 家族：妻

## 月本たくや事務所

麻生区栗平 1-5-32 ベアーズハイム 101 号  
TEL 044(986)6010 FAX 044(986)6011

月本たくや

検索

